

観光まちづくりかわら版

富士山と湖と高原のまち—日本の湖水地方—

富士河口湖町の観光に関する興味深い情報やまちづくり情報などを紹介するかわら版です。

第6回富士山・河口湖映画祭が行われました

2月23日・24日の2日間、勝山ふれあいセンターで第6回富士山・河口湖映画祭が盛大に行われました。この映画祭の最大の特徴は、「富士山麓を舞台としたオリジナルのシナリオ」を募集するシナリオ・コンクールを行い、グランプリに選ばれた作品を実際に映画化して翌年の映画祭で上映するという点にあります。

今回の第6回シナリオ・コンクールでは、全国から269点という過去最多のシナリオ応募の中から、審査委員長である脚本家のジェームス三木さんが最終的に8つの入賞作品を選考し、2月23日に表彰式が行われました。そして栄えあるグランプリには、西史夏さん(兵庫県西宮市)の作品『未来のウェディングブーケ』が輝きました。どんな映画作品ができるのか今から楽しみです。

また、今回のシナリオ・コンクールでは町民の応募作品、外川桂さん(船津)の『富士サンタ』が映画祭実行委員長賞に選ばれました。外川さんは受賞の感想を「受賞出来て本当に光栄です。これを機に、町内からチャレンジする方が増えたら嬉しいです」とコメントされています。

『未来のウェディングブーケ』の撮影は夏から秋にかけて、第7回シナリオ・コンクールの応募受付は10月頃に行う予定です。ぜひこれからも富士山・河口湖映画祭にご注目ください。



観光まちづくり企画提案事業をご紹介します

住民の皆様自身の手による観光まちづくり活動を支援するための「観光まちづくり企画提案事業」では、今年度は6件のプロジェクトが推進されています。今回はすでに終了した大石観光協会による【おいしい屋 チラシ作製費】と現在進行中の西湖クニマス焼事業実行委員会による【「西湖クニマス焼」特産化定着促進事業と幻の「西湖クニマスかりんとう」商品開発事業】の2事業をご紹介します。

【おいしい屋 チラシ作製費】

この事業は2012年5月に大石公園にオープンした大石観光協会による農産物直売所「おいしい屋」の地域定着を図るために行われました。作製したチラシは地元である大石地区はもちろん、町内全体に新聞折込という形で配布しました。大石公園で行われたハーブフェスティバルの最後の3日間にははずれなしのくじ引きを行ってハーブフェスティバルの盛り上げに貢献しました。



【「西湖クニマス焼」特産化定着促進事業と幻の「西湖クニマスかりんとう」商品開発事業】

2010年に西湖で再発見されたクニマスをかたどって昨年生み出された「西湖クニマス焼」の地域への定着と西湖地区の各家庭で独自に作られていてそれぞれ味の違う「幻のかりんとう」を世に出し名物としていくことを目的に進行している事業です。西湖樹氷まつりでのクニマス焼の販売、かりんとうの試食やアンケートなどを行いました。この結果を受けてどのような形でお披露目されるか楽しみです。

